

高等学校 令和6年度(1学年用)教科

国語

科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：(1 組)

使用教科書：(高等学校 標準 現代の国語 (第一学習社))

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		読	書	話						
1 学 期	A 世界を広げる 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。((2) ア) 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。(B (1) ウ) 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろう定期考査	・指導事項 教科書「世界は謎に満ちている」の読解 原稿用紙の使い方について 文章作成時の「根拠の示し方」の解説 文章作成時の「説明の仕方」の解説 「根拠の示し方」「説明の仕方」で学習した内容を踏まえた作文 ・教材 教科書 ワークシート 一人1 台端末 ・一人1 台端末の具体的な活用場面 振り返りシートの作成 授業内課題の提出	○			【知識・技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。((2) ア) 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。(B (1) ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通じて積極的に自分の考えを表明したり深めたりしながら、言葉の働きについての認識を深めようとしているとともに、自らの学習を振り返りつつ調整している。	○	○	○	17
	B 話して伝える (1) 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。((1) イ) 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。(A (1) イ) 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろう定期考査	・指導事項 教科書「話し方の工夫」の内容理解 教科書「待遇表現」の内容理解 話し言葉と書き言葉をそれぞれ音読した時の印象の違いについての活動を踏まえた考察 相手と場面に応じた話し方の工夫についての活動を踏まえた考察 直接的な表現と婉曲的な表現についての活動を踏まえた考察 敬語表現を意識した言葉遣いの学習 相手や場に応じた言葉遣いの学習 ・教材 教科書 ワークシート 一人1 台端末 ・一人1 台端末の具体的な活用場面 振り返りシートの作成 授業内課題の提出	○			【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。((1) イ) 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。(A (1) イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割について考えたり、自分の考えが的確に伝わるように自分の立場や考えを明確にしたりしようとする中で、言葉の働きについての認識を深めようとしているとともに、自らの学習を振り返りつつ調整している。	○	○	○	20
	C 言葉が開く世界 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。((1) ア) 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすることができるとともに、自分の考えを深めることができる。(C (1) イ) 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろう定期考査	・指導事項 教科書「言語としてのピクトグラム」の読解 引用の仕方についての学習 教科書本文の要約 ・教材 教科書 ワークシート 一人1 台端末 ・一人1 台端末の具体的な活用場面 振り返りシートの作成 授業内課題の提出	○			【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。((1) ア) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価しているとともに、自分の考えを深めている。(C (1) イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉の働きについての認識を深めるとともに、情報を相互に関係付けることを通して内容や書き手の意図を解釈しようとする中で、文章の構成や論理の展開などについての認識を深めようとしている。	○	○	○	17
						○	○		1	

2 学 期	<p>D 書いて伝える</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。(1)オ)</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。(B(1)ウ)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 教科書「書き方の基礎レッスン」の内容理解 表現上の工夫(修辞)の活用 表記・表現の基本ルールを踏まえた文章作成 接続表現に留意した文章作成</p> <p>・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末</p> <p>・一人1台端末の具体的な活用場面 文章作成 振り返りシートの作成 授業内課題の提出</p>	○			<p>【知識・技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ)</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 B「話して伝える(1)」に引き続き、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方についての認識を深めるとともに、読み手の存在を踏まえた論理の展開や情報の精査を行うことを通して、自らの学習を振り返りつつ調整している。</p>	○	○	○	23
	定期考査					○	○		1	
3 学 期	<p>E 話して伝える(2)</p> <p>【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア)</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(A(1)エ)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 教科書「論理的な表現」の内容理解 教科書「情報の探索と選択」の内容理解 主張と理由の関係性や妥当性についての考察 情報の探索と選択の実践 1年間の学習の総括(学年末考査終了後)</p> <p>・教材 教科書 ワークシート 一人1台端末</p> <p>・一人1台端末の具体的な活用場面 振り返りシートの作成 授業内課題の提出</p>	○			<p>【知識・技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報との関係についての認識を深めるとともに、相手の話の内容について適切な評価を行い、その情報を踏まえて自分の考えを広げたり深めたりしようとすることを通して、自らの学習を振り返りつつ調整している。</p>		1		35
	定期考査					○	○		1	

東京都立中野工業高等学校(定時制課程) 令和6年度 公共 年間授業計画

教科：公民 科目：公共 単位数：2単位

対象学年組：第1学年1組

教科担当者：

使用教科書：高等学校 公共 これからの社会を考える 数研出版

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	公共的空間をつくる	<p>1. 大人になるとは ①青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解し、 ②自己形成の課題について考察でき、③自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。</p> <p>2. お互いを尊重する ①伝統や文化、宗教などを背景にして現代の社会が成り立っていることが理解できている。特に、古代から近代の日本の思想家の思想内容が理解できている。 ②思想や伝統、文化、宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。 ③思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できている。</p> <p>3. 誰もが生きやすい社会へ ①自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 ②自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 ③自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。</p>	①教科書や資料の内容の理解 ②話し合いへの積極的な参加 ③ワークシート記述と提出物 ④小テストや定期考査の成績	4
5月	公共的空間における人間としてのあり方生き方	<p>1. 西洋近現代の思想 ①近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 ②思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 ③選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。</p> <p>2. 現代の諸課題と倫理 ①地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 ②公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 ③選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得、現代の諸課題を主体的に追究できている。</p>	①教科書や資料の内容の理解 ②話し合いへの積極的な参加 ③ワークシート記述と提出物 ④小テストや定期考査の成績	6
6月	公共的空間における基本原理	<p>1. 民主社会の原理 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解できている。 ②このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 ③民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。</p> <p>2. 日本社会の基本原理 ①日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 ②日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本原理との関連を考察することができている。 ③日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができている。</p>	①教科書や資料の内容の理解 ②話し合いへの積極的な参加 ③ワークシート記述と提出物 ④小テストや定期考査の成績	7
7月	ルールを作り守る	<p>1. 法と契約 ①法や規範の意義や役割が理解できている。 ②日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げることができる。 ③身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。</p> <p>2. 司法参加の意義 ①公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 ②裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 ③模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。</p>	①教科書や資料の内容の理解 ②話し合いへの積極的な参加 ③ワークシート記述と提出物 ④小テストや定期考査の成績	6

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				0
9月	政治に参加する私たち(1)	<p>1. 政治参加と民主政治の課題</p> <p>①地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。</p> <p>②選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。自分が理想とする選挙制度を選択することができる。</p> <p>③模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。</p>	<p>①教科書や資料の内容の理解</p> <p>②話し合いへの積極的な参加</p> <p>③ワークシート記述と提出物</p> <p>④小テストや定期考査の成績</p>	6
10月	政治に参加する私たち(2)	<p>2. 国際政治の動向</p> <p>①国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。</p> <p>国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。</p> <p>冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。</p> <p>②集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。</p> <p>国連の現状と課題について考察できている。</p> <p>③日々報道される世界の国際紛争に関心が持っている。</p> <p>それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができている。</p>	<p>①教科書や資料の内容の理解</p> <p>②話し合いへの積極的な参加</p> <p>③ワークシート記述と提出物</p> <p>④小テストや定期考査の成績</p>	6
11月	政治に参加する私たち(3)	<p>3. 国際政治の課題と日本の役割</p> <p>①国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。</p> <p>核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。</p> <p>現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。</p> <p>②留学生や国際NGOと接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について判断できている。</p> <p>国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。</p> <p>③民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持っている。</p> <p>留学生や国際NGOと接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について主体的に追究できている。</p>	<p>①教科書や資料の内容の理解</p> <p>②話し合いへの積極的な参加</p> <p>③ワークシート記述と提出物</p> <p>④小テストや定期考査の成績</p>	7

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	経済活動を行なう私たち(1)	1. 経済のしくみと産業の変化 ①現代の企業の果たしている役割、中小企業や農業の果たしている役割と現状、産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解できている。 ②現代の企業倫理について、経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたかについて考察できている。 ③AIやITなどの先端技術が発展するなかで、自分の進路や職業選択を考えることができている。 経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。	①教科書や資料の内容の理解 ②話し合いへの積極的な参加 ③ワークシート記述と提出物 ④小テストや定期考査の成績	5
1月	経済活動を行なう私たち(2)	2. 市場経済のしくみと金融 ①市場経済のメカニズムが理解できている。 各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができている。 金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ②需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。 GDPが大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断できている。 ③商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的な消費行動がとれている。 超低金利時代に生きる一員として、今後の経済設計がきちんとたてられている。	①教科書や資料の内容の理解 ②話し合いへの積極的な参加 ③ワークシート記述と提出物 ④小テストや定期考査の成績	4
2月	経済活動を行なう私たち(3)(4)	3. 財政と社会保障 ①政府が経済に果たしている役割を理解できている。 財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 社会保障について理解できている。 ②自身の老後生活を予想し、租税(支払い)と社会保障(受取り)とのバランスを考察できている。 ③日本の経済について課題を発見し、解決する見通しが持っている。 4. 国際経済の動向と課題 ①貿易や外国為替相場について、そのしくみが理解できている。 戦後の国際経済の流れが理解できている。 発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。 ②経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 ③自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。 格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持つことができている。	①教科書や資料の内容の理解 ②話し合いへの積極的な参加 ③ワークシート記述と提出物 ④小テストや定期考査の成績	8
3月	公共的空間をつくり生きる(まとめ)	学年末テストの返却と答案解説	①ワークシート記述と提出物 ②小テストや定期考査の成績	1

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学

科目：数学 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（1組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（新高校の数学 I【数研出版】）

教科 数学 の目標： 数と式、図形と量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標： 数と式、図形と量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数と式、図形と量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数と式の計算（多項式の乗法） 【知識及び技能】 ・整式の加法・減法、乗法の意味を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・すでに学習した計算の方法と関連付けるさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・整式の加法・減法に関心を持ち、目的に応じて式の変形させる。	・指導事項 教科書に沿って、プリント・タブレットを利用して学習させる。プリントやFormsへの提出で理解度を確認する。 ・教材等 教科書・プリント・タブレット	【知識・技能】 ・整式の加法・減法、乗法の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・既に学習した計算の方法と関連付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・整式の加法・減法に関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとする。	○	○	○	11
1 学期 定期考査 数と式の計算（展開、因数分解） 【知識・技能】 ・因数分解の意味を理解させる。 【思考・判断・表現】 ・整式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・乗法公式や因数分解などに関心を持たせる。	・定期考査 ・指導事項 教科書に沿って、プリント・タブレットを利用して学習させる。プリントやFormsへの提出で理解度を確認する。 ・教材等 教科書・プリント・タブレット	【知識・技能】 ・因数分解の意味を理解している。 ・乗法公式や因数分解の公式の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・整式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりするなどして、いろいろな見方をするができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・乗法公式や因数分解などに関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとする。	○	○	○	15
定期考査 数と式の計算（平方根） 【知識・技能】 ・絶対値の意味を理解させる。 ・根号を含む式の計算や有理化をさせる。 【思考・判断・表現】 ・数を拡張してきた過程やその意義、数の四則演算の可能性について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・分母に根号を含む式において、分母を有理化する方法に関心を持たせる。	・定期考査 ・指導事項 教科書に沿って、プリント・タブレットを利用して学習させる。プリントやFormsへの提出で理解度を確認する。 ・教材等 教科書・プリント・タブレット	【知識・技能】 ・実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応することを理解している。 ・絶対値の意味を理解している。 ・根号を含む式の計算や有理化ができる。 【思考・判断・表現】 ・数を拡張してきた過程やその意義、数の四則演算の可能性について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・分母に根号を含む式において、分母を有理化する方法に関心をもつ。	○	○	○	15
2 学期						

東京都立中野工科高等学校令和6年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位

対象学年組：第1学年1組

教科担当者：(1組：)

使用教科書：(現代高等保健体育)

使用教材：()

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・バドミントン ・陸上競技 ・体育理論 ・体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的で意欲的に取り組んでいるか(観察) ・自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか(観察) ・運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか(観察・テスト) ・健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している(観察) 	6
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・陸上競技 ・体育理論 ・体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的で意欲的に取り組んでいるか(観察) ・自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか(観察) ・運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか(観察・テスト) ・健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している(観察) 	8
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球 ・体育理論 ・体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的で意欲的に取り組んでいるか(観察) ・自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか(観察) ・運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか(観察・テスト) ・健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している(観察) 	8
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球 ・体育理論 ・体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的で意欲的に取り組んでいるか(観察) ・自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか(観察) ・運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか(観察・テスト) ・健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している(観察) 	6

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	担当 時数
8月				
9月	<ul style="list-style-type: none"> サッカー 体育理論 体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的で意欲的に取り組んでいるか（観察） 自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか（観察） 運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか（観察・テスト） 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している（観察） 	8
10月	<ul style="list-style-type: none"> サッカー 体育理論 体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的で意欲的に取り組んでいるか（観察） 自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか（観察） 運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか（観察・テスト） 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している（観察） 	8
11月	<ul style="list-style-type: none"> バレーボール 体育理論 体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的で意欲的に取り組んでいるか（観察） 自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか（観察） 運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか（観察・テスト） 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している（観察） 	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	<ul style="list-style-type: none"> バレーボール 体育理論 体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的で意欲的に取り組んでいるか（観察） 自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか（観察） 運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか（観察・テスト） 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している（観察） 	6
1月	<ul style="list-style-type: none"> 持久走 バスケットボール ポッチャ ゴールボール 体育理論 体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的で意欲的に取り組んでいるか（観察） 自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか（観察） 運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか（観察・テスト） 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している（観察） 	6
2月	<ul style="list-style-type: none"> 持久走 バスケットボール ポッチャ ゴールボール 体育理論 体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的で意欲的に取り組んでいるか（観察） 自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか（観察） 運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか（観察・テスト） 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している（観察） 	8
3月	<ul style="list-style-type: none"> 持久走 バスケットボール ポッチャ ゴールボール 体育理論 体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えるように指導する。 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保する指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的で意欲的に取り組んでいるか（観察） 自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか（観察） 運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか（観察・テスト） 健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している（観察） 	6

合計

78

東京都立中野工科高等学校令和6年度 教科 保健体育 科目 保健 年間授業計画

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1単位

対象学年組：第1学年1組

教科担当者：(1組：)

使用教科書：(現代高等保健体育)

使用教材：()

	指導内容	保健の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<p>①健康の考え方と成り立ち</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康についての考え方 健康の成り立ちとその要因 <p>②私たちの健康のすがた</p> <ol style="list-style-type: none"> わが国における健康水準の向上 わが国における健康問題の変化 <p>・教科書、プリント教材、1人1台端末の活用。</p>	<p>(1) 現代社会と健康 (7) 健康の考え方</p> <p>【知識及び技能】 国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康の考え方に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。</p>	<p>【知識・技能】 健康の考え方について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	3
5月	<p>⑧健康に関する意思決定・行動選択</p> <ol style="list-style-type: none"> 意思決定・行動選択とそれに影響を与える要因 適切な意思決定・行動選択を実現する工夫 <p>⑨健康に関する環境づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康を保持増進するための環境 ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくり <p>・教科書、プリント教材、1人1台端末の活用。</p>	<p>(2) 現代社会と健康 (7) 健康の考え方</p> <p>【知識及び技能】 国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康の考え方に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。</p>	<p>【知識・技能】 健康の考え方について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	4
6月	<p>⑬現代の感染症</p> <ol style="list-style-type: none"> 感染症とは さまざまな感染症 <p>⑭感染症の予防</p> <ol style="list-style-type: none"> 感染症予防の3原則 現代の感染症対策 <p>⑮性感染症・エイズとその予防</p> <ol style="list-style-type: none"> 性感染症・エイズとは 性感染症・エイズの予防 <p>・教科書、プリント教材、1人1台端末の活用。</p>	<p>(1) 現代社会と健康 (4) 現代の感染症とその予防</p> <p>【知識及び技能】 新興感染症や再興感染症、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症とその予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 新興感染症や再興感染症、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。</p>	<p>【知識・技能】 現代の感染症とその予防について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	4
7月	<p>③生活習慣病の予防と回復</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活習慣とその種類 予防から回復まで <p>④がんの原因と予防</p> <ol style="list-style-type: none"> がんとその種類 がんの予防 <p>⑤がんの治療と回復</p> <ol style="list-style-type: none"> がんの治療と緩和ケア がんとともに生きる社会づくり <p>⑥運動と健康</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康からみた運動の意義 健康により運動のしかた <p>⑦食事と健康</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康的な食生活の意義 健康により食事のとり方 	<p>(1) 現代社会と健康 (9) 生活習慣病などの予防と回復</p> <p>【知識及び技能】 生活習慣病などを予防するには、健康的な生活を続けること、健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p>	<p>【知識・技能】 生活習慣病などの予防と回復について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。</p>	4

	指導内容	保健の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	⑧休養・睡眠と健康 1 健康からみた休養の意義 2 健康からみた睡眠の意義 ・教科書, プリント教材, 1人1台端末の活用	【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病などを予防するには、健康的な生活を続けること、健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。	【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組む。	
8月				
9月	⑨喫煙と健康 1 喫煙の影響 2 喫煙への対策 ⑩飲酒と健康 1 飲酒の影響 2 飲酒への対策 ・教科書, プリント教材, 1人1台端末の活用。	(1) 現代社会と健康 (a) 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙, 飲酒と健康, 薬物乱用と健康について、理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙, 飲酒と健康, 薬物乱用と健康について、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。	【知識・技能】 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうと	4
10月	⑪薬物乱用と健康 1 薬物乱用の影響 2 薬物乱用の要因と対策 ・教科書, プリント教材, 1人1台端末の活用。	(2) 現代社会と健康 (a) 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙, 飲酒と健康, 薬物乱用と健康について、理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙, 飲酒と健康, 薬物乱用と健康について、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。	【知識・技能】 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうと	4
11月	⑫精神疾患の特徴 1 精神疾患の要因と種類 2 精神保健の今日的課題 ⑬精神疾患の予防 1 日常生活における精神疾患の予防 2 精神疾患の早期発見・早期治療 ・教科書, プリント教材, 1人1台端末の活用。	(1) 現代社会と健康 (b) 精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】 精神疾患の特徴, 精神疾患への対処について、理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の特徴, 精神疾患への対処について、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。	【知識・技能】 精神疾患の予防と回復について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。	4

	指導内容	保健の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	<p>⑭精神疾患からの回復</p> <p>1 専門家による支援と治療</p> <p>2 社会環境の整備</p> <p>・教科書,プリント教材,1人1台端末の活用。</p>	<p>(2) 現代社会と健康</p> <p>(イ) 精神疾患の予防と回復</p> <p>【知識及び技能】 精神疾患の特徴, 精神疾患への対処について, 理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復に関わる事象や情報から課題を発見し, 疾病等のリスクの軽減, 生活の質の向上, 健康を支える環境づくりなどと, 解決方法を関連付けて考え, 適切な方法を選択し, それらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の特徴, 精神疾患への対処について, 自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。</p>	<p>【知識・技能】 精神疾患の予防と回復について, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について, 自他や社会の課題の解決方法と, それを選択した理由などを話し合ったり, ノートなどに記述したりして, 道筋を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の予防と回復について, 課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	4
1月	<p>①事故の現状と発生要因</p> <p>1 事故とその被害</p> <p>2 事故の発生に関連する要因</p> <p>②安全な社会の形成</p> <p>1 自他の安全を確保する行動</p> <p>2 安全を確保する社会の取り組み</p> <p>・教科書,プリント教材,1人1台端末の活用。</p>	<p>(2) 安全な社会生活</p> <p>(ア) 安全な社会づくり</p> <p>【知識及び技能】 事故の現状と発生要因, 安全な社会の形成, 交通安全について, 理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりに関わる事象や情報から課題を発見し, 自他や社会の危険の予測を基に, 危険を回避したり, 傷害の悪化を防止したりする方法を選択し, 安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事故の現状と発生要因, 安全な社会の形成, 交通安全について, 自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。</p>	<p>【知識・技能】 安全な社会づくりについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 安全な社会づくりについて, 自他や社会の課題の解決方法と, それを選択した理由などを話し合ったり, ノートなどに記述したりして, 道筋を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて, 課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	3
2月	<p>③交通における安全</p> <p>1 交通事故防止のための取り組み</p> <p>2 交通事故と運転者の責任</p> <p>・教科書,プリント教材,1人1台端末の活用。</p>	<p>(3) 安全な社会生活</p> <p>(ア) 安全な社会づくり</p> <p>【知識及び技能】 事故の現状と発生要因, 安全な社会の形成, 交通安全について, 理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりに関わる事象や情報から課題を発見し, 自他や社会の危険の予測を基に, 危険を回避したり, 傷害の悪化を防止したりする方法を選択し, 安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事故の現状と発生要因, 安全な社会の形成, 交通安全について, 自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。</p>	<p>【知識・技能】 安全な社会づくりについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 安全な社会づくりについて, 自他や社会の課題の解決方法と, それを選択した理由などを話し合ったり, ノートなどに記述したりして, 道筋を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて, 課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	3
3月	<p>④応急手当の意義とその基本</p> <p>1 応急手当の意義</p> <p>2 応急手当の手順</p> <p>⑤日常的な応急手当</p> <p>1 けがに応じた応急手当</p> <p>2 熱中症の応急手当</p> <p>⑥心肺蘇生法</p> <p>1 心肺蘇生法の意義と方法</p> <p>・教科書,プリント教材,1人1台端末の活用。</p>	<p>(2) 安全な社会生活</p> <p>(イ) 応急手当</p> <p>【知識及び技能】 応急手当の意義, 日常的な応急手当, 心肺蘇生法について, 理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し, 自他や社会の危険の予測を基に, 危険を回避したり, 傷害の悪化を防止したりする方法を選択し, 安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 応急手当の意義, 日常的な応急手当, 心肺蘇生法について, 自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて学習に主体的にとりくもうとすることができるようになる。</p>	<p>【知識・技能】 応急手当について, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 応急手当について, 自他や社会の課題の解決方法と, それを選択した理由などを話し合ったり, ノートなどに記述したりして, 道筋を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について, 課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	2

中野工科 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

外国語 English Communication1 科目 English Communication 1

教科： 外国語 English Communication1 科目： English Communication 1 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 組

教科担当者：（ 1 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ All Abroad English Communication 1 東京書籍 ）

教科 外国語 English Communication1 の目標：

- 【知識及び技能】必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えることができる。

科目 English Communication 1 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
[知識]教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを理解している。 [技能]教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている	教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。	教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 使う場面などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 教室で使う表現について、適切に使っている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えようとしている。	・指導事項 Warm-up1 アルファベット Warm-up2 教室で使う表現 Warm-3 辞書の使い方Warm-up1.2.3 ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすいように伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 Pre-lesson1 My name is Ito Neko. Pre-lesson2 I like Junk food. ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストす	○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 過去形の意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすいように伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 lesson1 Breakfast around the World 私の朝ごはん ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えや好みを話したり書いた	・指導事項 lesson1 Breakfast around the World 私の朝ごはん ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	6
定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストす	○	○		1	
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson2 Australia's Cute Quokkas ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	F 単元 【知識及び技能】 進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手が理解しやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson2 Australia's Cute Quokkas ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストす	○	○		1
2 学 期	G 単元 【知識及び技能】 助動詞can, willを用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えを話したり書いたりする。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 lesson3 A Train Driver in Sanriku ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	H 単元 【知識及び技能】 助動詞can, willを用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えを話したり書いたりする。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 lesson3 A Train Driver in Sanriku ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	定期考査	定期考査	○				○	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストす	○	○		1

3 学 期	I 単元 【知識及び技能】 to不定詞を用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 気持ちを話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 気持ちを伝え合おうとしている。	・指導事項 lesson4 A Miracle Mirror ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	8
	J 単元 【知識及び技能】 文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えをまとめる 定期考査	・指導事項 lesson4 A Miracle Mirror ・教材 教科書 プリント等 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	1 英語を読み解く技能と運用能力が向上したか 2 授業に積極的に取り組んだか 3 言語や文化に対する理解は深まったか	○	○	○	5
	定期考査	定期考査	○	○	○	○	○	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストする	○	○	○	1
											合計	78

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

工業(総合技術科) 科目

工業技術基礎（機械類型）

教科：工業(総合技術科) 科目：工業技術基礎（機械類型）

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 組

教科担当者：（1組： ）（1組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（工業技術基礎 実教出版 ）

教科 工業(総合技術科) の目標：安全第一な実習について基礎的な知識や技術を理解する

【知識及び技能】 作品の完成状況（到達度、作品や課題の出来ばえ、創意工夫）

【思考力、判断力、表現力等】 授業への取り組み（意欲、集中度、忘れ物、服装等）・レポートの完成状況（内容・提出状況）

【学びに向かう力、人間性等】 出席状況（出欠・遅刻の状況）

科目 工業技術基礎（機械類型） の目標：実習中の事故や怪我のないよう安全作業・安全第一について理解する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ものづくり技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ものづくり技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として基本的な技術に基づき工業技術の進展に対応していく力を養う	ものづくり技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	機械実習や工場内での安全について 安全に作業している 決められた形に加工できる	オリエンテーション 工業技術基礎の授業について 安全第一の実習について理解する 指導内容 (ガス・アーク・半自動溶接) (旋盤) (製図・CAD) 教材 教科書 プリント	【知識・技能】 作品 レポート 【思考・判断・表現】 レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・取り組み	○	○	○	36
2 学 期	機械実習や工場内での安全について 安全に作業している 決められた形に加工できる	指導内容 (ガス・アーク・半自動溶接) (旋盤) (製図・CAD) 教材 教科書 プリント 類型別 指導内容 (ガス・アーク・半自動溶接) (旋盤・フライス盤) (手仕上げ・鋳造) (製図・CAD) 教材 教科書 プリント	【知識・技能】 作品 レポート 【思考・判断・表現】 レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・取り組み	○	○	○	54
3 学 期	機械実習や工場内での安全について 安全に作業している 決められた形に加工できる	類型別 指導内容 (ガス・アーク・半自動溶接) (旋盤・フライス盤) (手仕上げ・鋳造) (製図・CAD) 教材 教科書 プリント	【知識・技能】 作品 レポート 【思考・判断・表現】 レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・取り組み	○	○	○	27

年間授業計画 新様式例

東京都立中野工科高等学校 令和6年度 教科 工業 科目 工業技術基礎(食品工業)

教科： 工業 科目： 工業技術基礎(食品工業) 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 組
 教科担当者： (1組：) (1組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (自校作成テキスト)

教科 工業 の目標： 工業の見方・考え方を働かせ職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

- 【知識及び技能】工業について基本的・基礎的な知識理解するとともに、必要な技術を習得する。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観と合理的・創造的に課題を解決する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】工業技術をととして、より良い社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協調性をもつ取り組み態度を身につけさせる。

科目 工業技術基礎(食品工業) の目標： 実践的・体験的な学習活動を行うことにより、工業の各分野における課題解決能力、工業技術の発展に対応する能力、職業人としての倫理観を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業技術について基本的・基礎的な知識を理解するとともに、必要な技術を習得する。	工業技術に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観と合理的・創造的に課題を解決する力を身につける。	工業技術をととして、より良い社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協調性をもつ取り組み態度を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 食品工業類型① 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材(自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・試薬の安全な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	9
	A 食品工業類型① 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材(自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・試薬の安全な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12
	定期考査	・定期考査					
	A 食品工業類型① 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材(自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・試薬の安全な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	15
2 学 期	A 食品工業類型① 2班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材(自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・試薬の安全な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	9
	A 食品工業類型① 2班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の基礎 食品基礎実験 ・教材(自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12
	A 食品工業類型② 1班 【知識及び技能】 器具・材料の適切な使い方を理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な洗浄、前後の処理を理解 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に安全、衛生、環境に配慮	・指導事項 食品製造の応用・発展 食品応用実験 ・教材(自校作成テキスト・プリント) ・ICT活用 等	【知識・技能】 器具・装置・材料の安全・適切な使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な洗浄及び前後処理方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に安全の確保、衛生面・環境に配慮している。	○	○	○	12

高等学校 令和6年度 教科

工業 科目 工業情報数理

教科：工業 科目：工業情報数理

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 組

教科担当者：(1組：) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(工業情報数理(オーム社))

教科 工業 の目標：工業の見方・考え方を働かせ、職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】工業について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 工業情報数理 の目標：工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野における情報技術の進展への対応や事象の数理処理に必要な資質・能力を次のとおり育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野における情報技術の進展と情報の意義や役割及び数理処理の理論を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	情報化の進展が産業社会に与える影響に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野において情報技術及び情報手段や数理処理を活用する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	A 情報モラル 【知識及び技能】 個人情報の取扱い方や著作権などの知的財産の制度を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関するルールやモラルについて違反しているかどうかを判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を取り扱う際の留意点などについて主体的に考えられる。	・指導事項 個人のプライバシー 著作権、知的財産権 ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 著作権や知的財産権について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 情報に関するルールやモラルについて思考・判断し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を取り扱う際の留意点について主体的に考えようとしている。	◎	○		8
B 情報のセキュリティ管理 【知識及び技能】 情報のセキュリティを高める方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの不正使用がどのように起こり、その対策はどうすればいいかを思考・判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの障害が起こらないように対策を考えようとしている。	・指導事項 データの暗号化技術 電子認証技術 ウイルス対策ソフト ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 コンピュータの不正使用の対策方法について理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータの不正使用の対応策についていくつかの選択肢について思考・判断し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの障害が社会に対する影響が大きいことについて主体的に考えようとしている。	◎	○		8	
定期考査	・定期考査		○	○		1	
C ハードウェアとソフトウェア 【知識及び技能】 コンピュータの構造やOSとソフトウェアの役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータシステムの課題を見出し、解決策を思考・判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータシステムの活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導事項 コンピュータの構造と周辺機器 インタフェース OSとソフトウェアの違い ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 コンピュータの構造やOSとソフトウェアの役割を理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータシステムの課題を見出し、解決策をいくつか挙げるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータシステムの活用について協働的に取り組んでいる。	◎		○	8	
D 情報通信ネットワーク 【知識及び技能】 通信ケーブル、通信機器、プロトコルについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 通信状態の不安定さについてその原因を思考・判断・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 データ通信を行う上でのネットワークの活用について主体的に取り組んでいる。	・指導事項 通信ケーブルの種類 TCP/IPとプロトコル IPアドレス (Ipv4) ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 通信プロトコルについてその役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ネットワークの安定性を阻害する原因をいくつか挙げるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 通信ネットワークの活用について協働的に取り組んでいる。	○	◎		6	
定期考査	・定期考査		○	○		1	

2 学 期	E アルゴリズム 【知識及び技能】 アルゴリズムを表現するための 順次、分岐、繰り返し処理につ いて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 3つの処理をどのように使い分 けたり組み合わせるかを思考・判 断・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムを主体的に取り組 んでいる。	・指導事項 流れ図 順次処理 分岐処理 繰り返し処理 ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 ある課題に対してアルゴリズムを描くことが できる。 【思考・判断・表現】 ある課題に対していくつかのアルゴリズムを 思考・判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルゴリズムの活用について協働的に取り組 んでいる。	○	◎	○	6
	F コミュニケーションと情報デザ イン 【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケー ション手段の特徴について理解し ている。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的を明 確にして、効果的な情報デザイン 表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインの考え方や方法を 活用してWEBページを作成しようと している。	・指導事項 メディアの特性 ピクトグラム 静止画、動画、圧縮、展開 ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 ピクトグラムの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ある課題に対していくつかの効果的な情報デ ザインやコミュニケーションの手段を思考・判 断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ある目的のWEBページの作成を情報デザインの 考え方をういて協働的に取り組んでいる。	○	◎	○	8
	定期考査	・定期考査		○	○		1
	G 数値処理 【知識及び技能】 面積、体積、質量の積算及び単 位変換について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを利用して様々な 数値処理を思考し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを利用して主体的 に数値処理を行おうとしている。	・指導事項 国際単位系 面積、体積、質量の積算 単位換算 実験やシミュレーションの数値 処理 ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 面積、体積、質量の積算及び単位換算につ いて理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータを利用して数値処理方法を思 考・判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータを利用して数値処理について協 働的に取り組んでいる。	○	◎		10
3 学 期	H プログラミング 【知識及び技能】 組込コンピュータを用いて実際 に制御するプログラミングができ る。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを工夫しながら思 考錯誤してプログラミングしそれ を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミングの処理手順につ いて主体的かつ協働的に取り組ん でいる。	・指導事項 Microbitの使い方 チュートリアル Python ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 Microbitを使ってチュートリアルを完成させ ることができる。 【思考・判断・表現】 Microbitを利用して課題のプログラムを思 考・判断しながら作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Microbitを利用して課題のプログラムを主体 的かつ協働的に取り組んでいる。	◎	○	○	8
	定期考査	・定期考査		○	○		1
	H プログラミング 【知識及び技能】 組込コンピュータを用いて実際 に制御するプログラミングができ る。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを工夫しながら思 考錯誤してプログラミングしそれ を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミングの処理手順につ いて主体的かつ協働的に取り組ん でいる。	・指導事項 Microbitの使い方 チュートリアル Python ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 Microbitを使ってチュートリアルを完成させ ることができる。 【思考・判断・表現】 Microbitを利用して課題のプログラムを思 考・判断しながら作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Microbitを利用して課題のプログラムを主体 的かつ協働的に取り組んでいる。	○	◎	○	6
H プログラミング 【知識及び技能】 組込コンピュータを用いて実際 に制御するプログラミングができ る。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを工夫しながら思 考錯誤してプログラミングしそれ を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラミングの処理手順につ いて主体的かつ協働的に取り組ん でいる。	・指導事項 Microbitの使い方 チュートリアル Python ・教材(教科書, プリント) ・ICT活用 個人所有のipad Teams	【知識・技能】 Microbitを使ってチュートリアルを完成させ ることができる。 【思考・判断・表現】 Microbitを利用して課題のプログラムを思 考・判断しながら作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Microbitを利用して課題のプログラムを主体 的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	◎	5	
定期考査	定期考査		○	○		1	
合計							
78							